

おいでませ、すばらしき本の世界 文化センター「としょかんまつり」

2月24日(日)、文化センター（アスパアたまがわ）にて「としょかんまつり」が開催されました。本のリサイクルから、読み聞かせ、大型絵本、ワークショップ、ロビーコンサートなど盛りだくさんの内容で、文化センターに賑わいのたえない1日となりました。

除籍になった図書のリサイクルでは、都会のバーゲンセールのような我先にの争奪戦が繰り広げられました。上限の10冊の本を抱えた7歳の男の子は「ぜんぶしっかり読みます」と意気込んでくれました。

ロビーコンサートでは、出演者の方に混じって、なんと図書館のお姉さん自身もサクソフを吹くパフォーマンスを披露。巧みな演奏技術で会場をわかせていました。



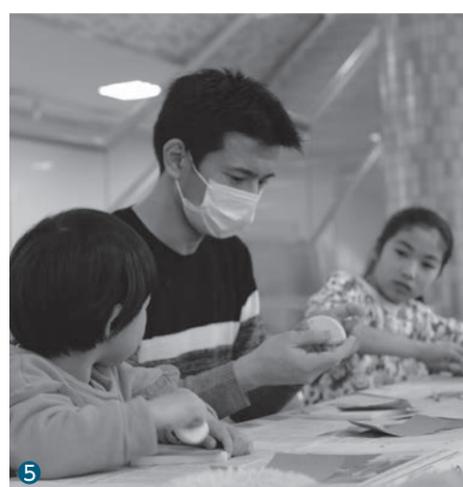
1



2



3



5



4

1 老若男女にぎわう無料配布。2 劇は「泣いた赤おに」。名作です。3 読み聞かせは、知っている話でも新鮮に感じます。4 演じ分けての大型紙芝居、迫力満点です。5 ワークショップに参加するお父さんとお子さん。

写真説明

愛育班員2名が表彰

2月7日に開催された第51回埼玉県母子愛育のつどいにおいて、島田明美さんが母子愛育事業功労者知事感謝状、渡邊恵子さんが母子愛育会埼玉県支部長表彰を受けられました。

この表彰は、愛育班員として長きにわたり愛育班活動に尽力され、その功績が認められたものです。

おめでとうございます。



21 表彰を受けられた島田さん（写真左）と渡邊さん（同右）。

写真説明

グラフときがわ

写真でときがわの「今」をお伝えする“グラフときがわ”。珍しい情報や写真は☎65-0401 広報担当までお寄せください。



ときがわ町で 「観光道場」が開催されました

2月16日(土)、県水辺再生課主催の「観光道場」が開催されました。今回は、観光分野を専門とする県内大学生と教員の合わせて30名を対象に、地域の観光づくりを学んでもらう目的で行われました。参加者は別所橋をスタートし、「都幾川川のまると再生プロジェクト」で整備されたときがわ水辺の道を見学しながら、講演会場の民間施設までの約1kmを、徒歩や当日用意した木製ゴーカートに乗りながら向かいました。

会場では、施設の案内のほか、渡邊町長による「ときがわ町の観光振興」などの2つの講義が行われました。

初めてときがわ町を訪れた学生も多く、水辺の道では川のせせらぎや、ときがわ町の持つ自然の魅力を肌で感じ楽しんでいる様子が見られました。また、講義では講師2人の観光に対する考え方に聴き入っており、講義終了後の意見交換でも、またときがわ町に遊びにきたいという意見があり、有意義な内容になったようでした。

これから徐々に春の風景を楽しめる季節になります。ときがわ水辺の道のパンフレットを片手に、遊歩道を歩いてみてはいかがでしょうか？



1



2



4



3

1 2 ときがわ水辺の道を歩く学生たち。先頭の学生はお手製ゴーカートに試乗中です。3 グランピングテントを覗き込む皆さん。充実の設備に「泊ってみたい！」との声も。4 講義では、会場のコワーキングスペースにおいて、皆さんまじめに講師の話をしっかり聞いていました。

20

写真説明